

令和 元 年度 西宮市公共事業評価シート

【自己評価結果】

実施予定年度	H 29 年度 ~ R 7 年度	[改 築]		
事業名	瓦木中学校教育環境整備事業	実施箇所	薬師町4-15	
担当部署	局 教育委員会	部・室	教育総括室	課 学校施設計画課

総合計画	第Ⅱ部 子供・教育	2 学校教育	①教育環境の整備
------	-----------	--------	----------

事業の目的・内容	事業目的	<p>〈事業実施の背景となる問題・ニーズ〉 瓦木中学校は、生徒数の増加に伴う教室不足(仮設校舎6教室)、校舎老朽化(昭和30年代築)などへの対応が急務であり、優先して施設整備すべき学校と位置づけている。平成29年度には校区変更を実施したが、校区変更実施後も依然として生徒数が多い状況が継続する見込みで仮設校舎の撤去には至っていない。また、災害時の地域の避難所としての機能もあわせて整備する必要がある。</p> <p>〈対象〉 生徒、学校関係者、地域住民</p> <p>〈成果(対象をどのような状態にしたいか)〉 校舎の増改築及び改修を行うことにより老朽化と教室不足を解消し、教育環境の改善を図る。また、災害時の地域の避難所としての機能もあわせて整備し、地域住民の安全安心に寄与する。</p>																						
	計画概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名(代表的なもの)</th> <th>最終目標値設定の考え方・根拠</th> <th>目標年度</th> <th>単位</th> <th>現在値</th> <th>最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本計画策定進捗</td> <td>学校や関係団体との十分な協議により策定</td> <td>H31</td> <td>%</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>校舎増改築工事進捗</td> <td>改築校舎の竣工時期が重要なポイント</td> <td>R6</td> <td>%</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈施設概要〉 構造及び階層 : 鉄筋コンクリート造 4階(一部3階) 延床面積 : 約7,000㎡</p> <p>〈特徴〉 ・普通教室(24教室)、特別教室、管理諸室、備蓄倉庫、災害用トイレを整備 ・学級数が増加した場合は、少人数教室等の転用により最大26学級まで対応可 ・第2棟及び第3棟を校舎部分改築 ・残存校舎の改修</p> <p>〈実施根拠〉 平成27年2月公表「優先度の高い学校の選定」で優先度の高い学校として選定</p>					指標名(代表的なもの)	最終目標値設定の考え方・根拠	目標年度	単位	現在値	最終目標値	基本計画策定進捗	学校や関係団体との十分な協議により策定	H31	%	100	100	校舎増改築工事進捗	改築校舎の竣工時期が重要なポイント	R6	%	0	100
	指標名(代表的なもの)	最終目標値設定の考え方・根拠	目標年度	単位	現在値	最終目標値																		
	基本計画策定進捗	学校や関係団体との十分な協議により策定	H31	%	100	100																		
	校舎増改築工事進捗	改築校舎の竣工時期が重要なポイント	R6	%	0	100																		
	スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年月または年度</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度以前</td> <td>耐力度調査、基本計画着手</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>耐力度調査、事業手法検討、パブリックコメント実施、基本計画策定</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>既存校舎改修工事、地質調査、基本設計実施設計着手</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>既存校舎改修工事、仮設校舎設置、基本設計実施設計完了</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>既存校舎解体工事、校舎改築工事</td> </tr> <tr> <td>令和5年度以降</td> <td>校舎改築工事、運動場整備</td> </tr> </tbody> </table>					年月または年度	取組内容	平成30年度以前	耐力度調査、基本計画着手	平成31年度	耐力度調査、事業手法検討、パブリックコメント実施、基本計画策定	令和2年度	既存校舎改修工事、地質調査、基本設計実施設計着手	令和3年度	既存校舎改修工事、仮設校舎設置、基本設計実施設計完了	令和4年度	既存校舎解体工事、校舎改築工事	令和5年度以降	校舎改築工事、運動場整備				
	年月または年度	取組内容																						
平成30年度以前	耐力度調査、基本計画着手																							
平成31年度	耐力度調査、事業手法検討、パブリックコメント実施、基本計画策定																							
令和2年度	既存校舎改修工事、地質調査、基本設計実施設計着手																							
令和3年度	既存校舎改修工事、仮設校舎設置、基本設計実施設計完了																							
令和4年度	既存校舎解体工事、校舎改築工事																							
令和5年度以降	校舎改築工事、運動場整備																							
事業の目的・内容	<p>〈施設概要〉 構造及び階層 : 鉄筋コンクリート造 4階(一部3階) 延床面積 : 約7,000㎡</p> <p>〈特徴〉 ・普通教室(24教室)、特別教室、管理諸室、備蓄倉庫、災害用トイレを整備 ・学級数が増加した場合は、少人数教室等の転用により最大26学級まで対応可 ・第2棟及び第3棟を校舎部分改築 ・残存校舎の改修</p> <p>〈実施根拠〉 平成27年2月公表「優先度の高い学校の選定」で優先度の高い学校として選定</p>																							
スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年月または年度</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度以前</td> <td>耐力度調査、基本計画着手</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>耐力度調査、事業手法検討、パブリックコメント実施、基本計画策定</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>既存校舎改修工事、地質調査、基本設計実施設計着手</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>既存校舎改修工事、仮設校舎設置、基本設計実施設計完了</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>既存校舎解体工事、校舎改築工事</td> </tr> <tr> <td>令和5年度以降</td> <td>校舎改築工事、運動場整備</td> </tr> </tbody> </table>					年月または年度	取組内容	平成30年度以前	耐力度調査、基本計画着手	平成31年度	耐力度調査、事業手法検討、パブリックコメント実施、基本計画策定	令和2年度	既存校舎改修工事、地質調査、基本設計実施設計着手	令和3年度	既存校舎改修工事、仮設校舎設置、基本設計実施設計完了	令和4年度	既存校舎解体工事、校舎改築工事	令和5年度以降	校舎改築工事、運動場整備					
年月または年度	取組内容																							
平成30年度以前	耐力度調査、基本計画着手																							
平成31年度	耐力度調査、事業手法検討、パブリックコメント実施、基本計画策定																							
令和2年度	既存校舎改修工事、地質調査、基本設計実施設計着手																							
令和3年度	既存校舎改修工事、仮設校舎設置、基本設計実施設計完了																							
令和4年度	既存校舎解体工事、校舎改築工事																							
令和5年度以降	校舎改築工事、運動場整備																							
事業計画	<table border="1"> <tr> <td>予定事業費</td> <td>5,046,748 千円</td> <td>左記の内 国県支出(千円)</td> <td>148,029</td> <td>起債+一般財源(千円)</td> <td>4,898,719</td> </tr> <tr> <td>事業による経済効果等</td> <td colspan="5"> 費用便益比(B/C) = [国の指定算出方法に準拠] (算出が困難な場合は、期待される効果のみを記述) 校舎の改築及び既存校舎の改修により、老朽校舎及び教室不足が解消する等、教育環境の改善を図ることができる。また、災害時の地域の避難所として、地域住民の安全安心に寄与できる。 </td> </tr> </table>	予定事業費	5,046,748 千円	左記の内 国県支出(千円)	148,029	起債+一般財源(千円)	4,898,719	事業による経済効果等	費用便益比(B/C) = [国の指定算出方法に準拠] (算出が困難な場合は、期待される効果のみを記述) 校舎の改築及び既存校舎の改修により、老朽校舎及び教室不足が解消する等、教育環境の改善を図ることができる。また、災害時の地域の避難所として、地域住民の安全安心に寄与できる。															
予定事業費	5,046,748 千円	左記の内 国県支出(千円)	148,029	起債+一般財源(千円)	4,898,719																			
事業による経済効果等	費用便益比(B/C) = [国の指定算出方法に準拠] (算出が困難な場合は、期待される効果のみを記述) 校舎の改築及び既存校舎の改修により、老朽校舎及び教室不足が解消する等、教育環境の改善を図ることができる。また、災害時の地域の避難所として、地域住民の安全安心に寄与できる。																							

必要性	自己評価のとおり事業の必要性は認められる。 バリアフリー化など多様な児童への対応のほか、教育の質の向上についても記載すべき。
合理性	<ul style="list-style-type: none"> ・代替案の内容がわかりにくいため比較が難しい。 ・合理性の主な根拠に検討内容の追加説明が必要である。 ・経済比較について比較できないと記載すべき。
機位・構造・規模	既存校舎のうち、そのまま使用する部分の機能を維持更新しながら移転することについても機能性の欄に記載すべき。
環境社会性・安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・整備に伴い周辺の土地利用上の課題を改善すること。 ・緑化についての記載の追加。 ・地域への開放に関する記載の追加。
機能性	事業効果が認められる。
懸案事項等	<p align="center">事業を実施しない場合の懸案事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和30年代築の老朽校舎、教室不足が解消されず、事業を実施しない場合は教育環境の改善ができない。 ・教室不足が解消しないことから、校区内の住宅開発抑制を緩和できない。 ・地域の避難所機能が向上できない。
	<p align="center">事業を実施した場合の懸案事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期中の運動場面積は、現況の運動場面積の約7割程度の広さとなるため、体育の授業や部活動等で工夫が必要。 ・工期中の振動・騒音などにより教育環境や住環境が悪化する懸念があるため、施工計画において配慮が必要。 ・校舎形状の変化により、日影等の住環境への影響が懸念される。

令和 元 年度 西宮市公共事業評価シート

事業名	瓦木中学校教育環境整備事業
-----	---------------

【 委員会評価結果 】

[1:計画どおりの実施が望ましい 2:計画の一部見直しが見望ましい 3:計画の大幅見直しが見望ましい 4:実施の見送り、中止が妥当である]

評価委員会の総合判断	1	計画どおりの実施が望ましい
	評価委員会の総合的な意見	
	<p>本事業については計画どおり実施することが妥当と判断する。 なお、事業実施にあたっての評価委員の意見は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間中の教育環境について配慮すること ・将来の動向に合わせた柔軟な設計・配置に留意すること ・周辺地域との一体的な都市整備、土地利用について検討すること 	